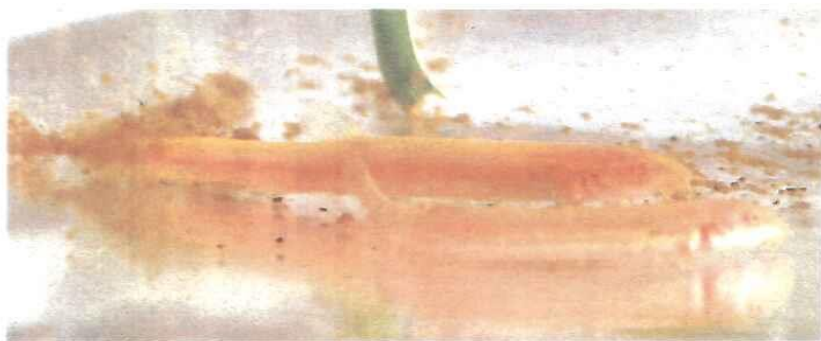




金色のドジョウを見詰める園児  
＝庄内町余目第四幼稚園



2日連続で余目第四幼稚園の園児が発見した金色のドジョウ

# “金色ドジョウ”連日発見

幼稚園児ら アルビノ、1カ所2匹はまれ

〔庄内〕

庄内町の余目第四幼稚園（後藤郁子園長）の園児が、近くの用水路で2日連続、金色のドジョウとみられる生き物を見つけた。県内水面水産研究所（米沢市）によると、生まれつき体の色素が欠乏している「アルビノ」で、同じ場所で2匹発見されるのは珍しいという。園児たちは「幸運

が訪れるかもしれない」と喜んでいる。園児と教諭がこの生き物を見つけたのは16日。ザリガニを捕まえるために用水路に仕掛けていたわなを見に行ったところ、大量のドジョウが泳いでおり、その中の1匹が金色と白が混ざったような色だったという。翌17日にも同じ場所で別の個体が見つかった。

同研究所の荒木康男副所長によると、この生き物はドジョウ科で、ドジョウかシマドジョウのアルビノとみられる。アルビノは野外で目立つため天敵に見つかりやすく、生き残るのは難しいという。2匹は同園の水槽で飼われている。年長大滝結愛ちゃん（6）は「黒いドジョウ

の中で1匹だけ金色でびっくりした。餌をあげて世話しているよ」と話していた。（井上萌々子）

2020年7月24日山形新聞

Q 1	
A 1	

Q 2	
A 2	

Q 3	
A 3	